

鳥羽市監査委員告示第5号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第12項の規定により監査の結果に基づき又は監査の結果を参考として講じた措置について市長から通知があったので、次のとおり公表する。

平成27年10月16日

鳥羽市監査委員 村林 守

鳥羽市監査委員 坂倉 広子

記

監査の種類	平成26年度 定期監査	
監査実施期間	平成26年6月30日～8月8日	
結果区分	所見（検討事項）	
課・係名等	指摘の内容	措置の内容等
定期船課	<p>荷物の取扱いについて</p> <p>荷物の取扱い及び料金徴収については、「各離島棧橋業務員荷物の取扱いマニュアル」に基づき行われているが、売掛については取扱方法が明記されておらず、各棧橋における売掛の取扱い状況も把握していなかった。統一した取扱い方法となるよう、売掛について取扱い基準の作成を検討されたい。</p>	<p>各離島棧橋業務員荷物の取扱いマニュアルを改訂し、各棧橋における統一した売掛の取扱い基準を盛り込みました。</p>
健康福祉課 （社会福祉事務所）	<p>係内での協力体制の確立について</p> <p>時間外勤務命令簿を確認したところ、高齢・障害係内で時間外勤務の時間にかなり偏りが見受けられた。今後、業務改善や効率的な事務分担、協力体制等の確立を目指し、対応策・改善策について検討されたい。</p>	<p>医師会と連携し、平成25年度から新規事業として在宅医療・介護連携推進事業を実施しており、夜間の会議、打合せ及び資料の作成について、担当職員1名に時間外勤務が偏ってしまいました。平成26年度は事業2年目になり、業務分担及び協力体制を確立し、業務が担当職員1名に偏らないよう留意しました。</p>

<p>税務課</p>	<p>係内での協力体制の確立について</p> <p>時間外勤務命令簿を確認したところ、特別滞納整理係内で時間外勤務の時間にかなり偏りが見受けられた。今後、業務改善や効率的な事務分担、協力体制等の確立を目指し、対応策・改善策について検討されたい。</p>	<p>昨年度は、係内で業務時間に偏りがみられたことから、本年度は課内で複数回にわたり、問題点の分析・業務改善や効率的な事務分担について協議を重ねてきました。</p> <p>業務の進捗状況についても適宜ミーティングを実施することで係内での協力体制の確立を目指していきます。</p>
<p>総務課 (公平委員会)</p>	<p>事務取扱マニュアル等の作成について</p> <p>各課の人事関係の簿冊を確認したところ、軽微な誤謬、認識誤り等による不備が多数見受けられ、毎年、同様の誤謬が繰り返されている状態である。また、例規等に規定がなく、事務処理方法に不明瞭な部分も見受けられた。効率的でミスのない事務処理となるよう人事関係簿冊全般について、事務取扱マニュアルや各課からの質問を基にしたQ&Aの作成を検討されたい。また、作成されたマニュアル等は常時閲覧できるような体制づくりや改正ごとに更新する体制づくりも検討されたい。</p>	<p>定期監査において指摘を受けた事項及び各部署から問い合わせのあった事項をQ&A方式にまとめたマニュアルを作成中です。</p> <p>作成したマニュアルについては、グループウェアを通して周知するとともにマニュアルの更新を随時行います。また、庶務担当者を対象とした説明会を実施します。</p>
	<p>公用車の効率的な運用について</p> <p>公用車の稼働率については定期的に確認しているとのことであったが、稼働率を分析することにより、公用車の配置を利用実態に合わせ、効率的な運用を図るとともに、現在ほとんど活用されていない私用車使用のための条件整備の見直しについても検討されたい。</p>	<p>平成 27 年度前期の集中管理車両の稼働率を分析したところ、MT車よりAT車の使用数が 2.5 倍高くなっており、今後の公用車の配置については、これらの分析結果も踏まえて対応していきます。</p> <p>また、市全体の公用車の配置のありかたや「鳥羽市職員の自家用自動車による出張の承認等に関する要綱」の見直しについて、今後も引き続き検討していきます。</p>

<p>企画財政課</p>	<p>課・係内での協力体制の確立について</p> <p>時間外勤務命令簿によると、課・係内でも時間外勤務の時間にかなり偏りが見受けられた。1ヶ月に60時間を超える時間外勤務を命じられる職員も見られたことから、業務改善や効率的な事務分担、協力体制等の確立を目指し、対応策・改善策について検討されたい。</p>	<p>各係において、予算編成業務や式典等のイベント実施など業務の集中する時期に長時間の勤務が生じることから年度当初に業務分担を話し合い、副担当を配置するなど業務が偏ることのないよう留意しました。</p> <p>しかし、個々の職員が担当する業務でピークが重なる場合などに時間外勤務時間の偏りがあったことから、年度途中にも担当業務の見直しや業務のピーク時に協力体制を構築することで、特定の職員に時間外勤務の時間が偏らないよう改善しました。</p>
--------------	--	---